



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2020年2月1日発行

第88号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL http://www.mimihara.or.jp (同仁会HP)

いのちと人権が尊重されるまち 誰もが輝けるまちづくりをめざして 心ひとつに新たな挑戦にふみだそう



みみはらグループ 2020年 新年集會に400人超

1月11日堺市立西文化会館ウエスティで、みみはらグループ新年集會が行われました。職員や友の会会員、来賓をあわせ、昨年を大きく上回る400人以上の参加がありました。



齊藤理事長

原水禁世界大会 ニューヨークへ みみはらから13人

開會に先立ち、2020年4月にニューヨークで初めて行われる原水爆禁止世界大会の参加者を代表して医療情報管理課の阪口さん、組織健診科の田村さん、総合診療科の坂本医師から発言がありました。多くのことを学んで核兵器廃絶の運動を前進させたいとの発言に、会場から大きな拍手がありました。ニューヨーク大会には全国から784人、みみはらグループから13人が参加します。

開會の挨拶で齊藤理事長から、「緊張が高まっている中東に自衛隊が派遣されています。軍事費を減らして医療・教育にまわさなくてはなりません。憲法を守り、人権を守る運動を頑張りましょう」などあいさつがありました。



田端理事長代行



記念講演講師の前川喜平さん

記念講演は 元文科省事務次官 前川喜平さん

記念講演は、現代教育行政研究会代表で元文科省事務次官の前川喜平さんから「つながり合える社会へ」格差社会を超えて」というテーマで講演をいただきました。

「春をめどに理事長に就任します。微力ではありますが、先人の意志を引き継ぎ、みみはらグループの運動と事業がいつそ発展できるよう、みなさんと力合わせて全力で頑張ります」と決意を語り、閉會となりました。

原水禁世界大会ニューヨークの訴え



「一人ひとりの行動が世界を変える Time to change the world and yourself」

閉會のあいさつで田端理事長代行は、総合病院のERが心と力を合わせることで「ことわらないER」を実現し、社会的にも高い評価を得ていることが、グループ全体の発展のヒントになると話し、「春をめどに理事長に就任します。微力ではありますが、先人の意志を引き継ぎ、みみはらグループの運動と事業がいつそ発展できるよう、みなさんと力合わせて全力で頑張ります」と決意を語り、閉會となりました。

される社会の実現が重要。多くの人が何らかのマイノリティーであり、社会には様々なマイノリティーが存在している、個人が尊重され、互いに人権を尊重し合う社会にすることが、人と人がつながりあえる民主的な共生社会が生まれるとお話されました。前川さんの講演は憲法の精神を基本とする点で民医連綱領と一致していて、改めて日本国憲法の価値観を貫くことの大切さを学びました。

まず昨年12月に亡くなられた大野穰一元理事長の業績を紹介し、同仁会の再建を理事長として取り組まれた功績に感謝が示されました。また、世代交代をすすめるため4月をめどに田端理事長代行の理事長就任を行い、それまでは齊藤理事長が引き続き任に当たることと、大阪民医連に今年の3月末までに、耳原総合病院の院長選挙をすすめるよう要請したことが報告されました。